

# 電子部品メーカー ハンドブック 2026

AI、データセンター、モビリティなど  
新商機、技術革新・投資が進行

発行 産業タイムズ社

## 1-1：自動車

### 25年はEV伸長スピード緩和へ

2025年の自動車業界を俯瞰してみると、従来に比べて各国の地域差が鮮明になってきた印象である。ロシア・ウクライナ問題を筆頭とするエネルギー供給網の地政学リスクや、東南アジアやグローバルサウスなど電力インフラの脆弱性により展開可能な自動車の種類が問われる地域事情、充電インフラの整備状況、各国法規制がSDV（ソフトウェア定義自動車）の進展を左右する実情、政府のEV補助金政策の方向性、米国関税影響回避に向けた生産拠点戦略の見直しなど、あらゆる複合的な要素を考慮する必要性が急激に高まった1年ともいえる。

国際自動車工業連合会（OICA）によれば、2024年の世界自動車販売台数（新車登録・販売台数）は前年比2.7%増の9531万台、自動車生産台数は同1.1%減の9250万台となった。販売台数の地域別では1位中国、2位米国、3位インドであり、日本は4位。一方、生

産台数の地域別では1位中国、2位米国、3位日本、4位インド、5位メキシコ、6位韓国との統計結果が示されている。

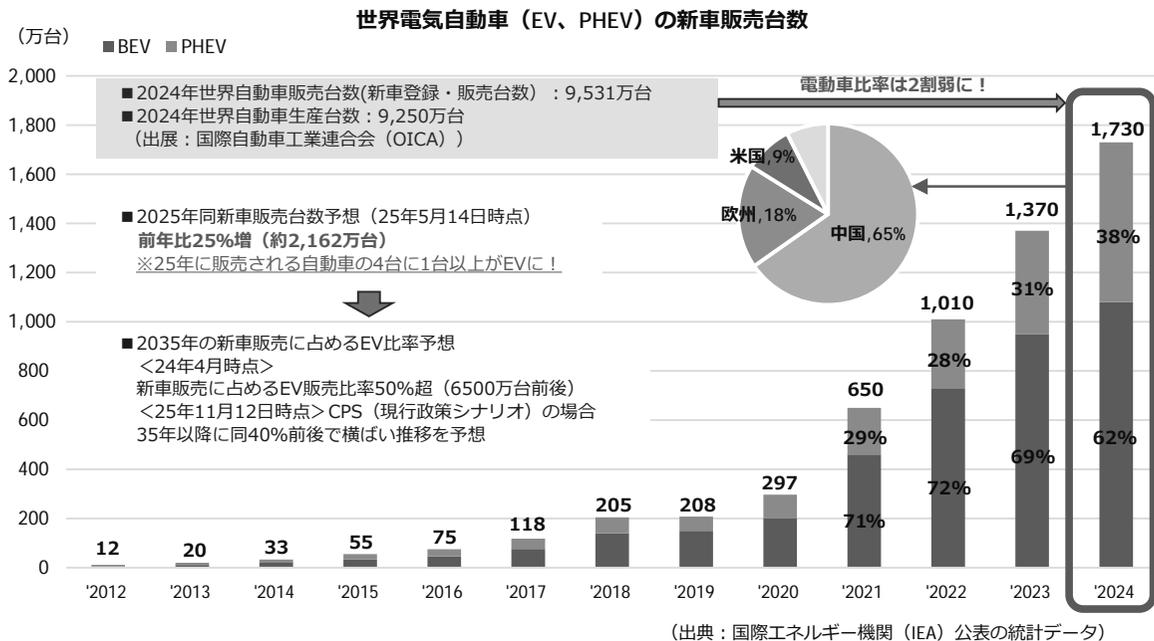
国際エネルギー機関（IEA）が25年5月に公表した「Global EV Outlook 2025」の統計データによれば、この世界販売台数に占める世界電気自動車（EV（電気自動車）、PHEV（プラグインハイブリッド車））の比率は約18%の1730万台（2023年は1370万台）で、この1730万台のうち62%がBEV、38%がPHEVとされている。

そして、この1730万台の地域別内訳は、中国が65%、欧州が18%、米国が9%であり、この3地域で92%を占める状況にある。

IEAでは2025年の世界電気自動車新車販売台数予想を前年比25%増の約2162万台（25年5月公表時点）とし、25年に販売される自動車の4台に1台以上がEVになるとの予想を発表していた。しかし25年11月半ば時点で、少しEVへの見方を慎重視する方向性に転じたことが感じられる発表が出され

た。2035年の新車販売に占めるEV比率予想ではあるが、24年4月公表時点では新車販売台数に占めるEV販売比率は50%超（6500万台前後）と予想していたが、25年11月公表時点ではCPS（現行政策シナリオ）の場合には、35年以降も同40%前後で横ばい推移するとの予想も付け加えた。つまり、各国が高騰する電気代などの諸事情を鑑み、たとえば欧州が2035年に内燃機関車を廃止するとしていた方向性を緩和するなど、カーボンニュートラル社会の実現に向けたトーンが少し低迷気味のまま推移した場合には、EV販売が当初予想よりも伸び悩む可能性にも言及したことになる。

実際に、電子部品各社からも、たとえばTDKが2025年の世界でのBEV生産台数予想を25年4月時点の1500万台予想から、25年10月には1470万台へ下方修正する動きがみられた。また、多くの自動車関連顧客がEVからHEVへの計画変更や設計変更が相次いでいると語る関係者もみられるなど、実際



マルチモーダルセンシング製品でさらなる成長へ

# アルプスアルパイン(株)

ALPS ALPINE CO., LTD.

【本社】〒145-8501 東京都大田区雪谷大塚町1-7 Tel.03-3726-1211

【代表者】泉 英男 【資本金】387億3000万円

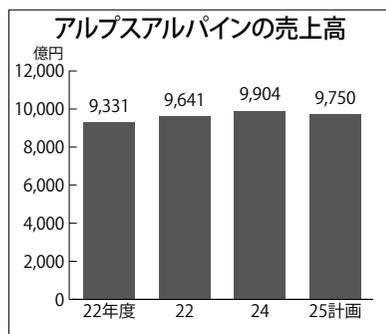
## 27年度売上高1兆円超目指す

第3次中期経営計画（2025～27年度）を策定・公表した。27年度に売上高1兆750億円（25年度予想比18%増）、営業利益710億円（同3.2倍）、ROE（資本効率）10%以上、PBR（株価指標）1倍以上を目標に掲げる。

次の10年を見据えた「ビジョン2035」も策定した。泉英男社長は、同社が向かう姿を「人の感性に寄り添うテクノロジーで未来をつくる」と表現し、「人の感性とものがシームレスにつながる世界。期待を超えるイノベーションを生み出し、持続可能な社会の実現を目指す」と意気込みを語った。

目標達成に向け、単体製品・部品からモビリティ資産とコア技術の融合によるマルチモーダルセンシング製品の拡充・加速を成長ドライバーとする。3つの事業セグメントのうち①コンポーネント、②センサー・コミュニケーションを確実な収益源として担保し、投資により収益構造をさらに高める。③モビリティでは、事業ポートフォリオ変革に向け、ソフトウェア投資も推進する方針だ。

①は27年度に売上高3500億円（25年度予想比14%増）、営業利益350億



円（同75%増）を計画。着実な成長軸は中国市場とみて、車載向けパッシブデバイスを中心とする新製品投入で、同20%増の販売拡大を目指す。実現に向けて、生産拠点の大連アルプス、寧波アルプス内に自社開発センター分室を設置し、開発体制の一体化を図る。

25年半ば時点で1車両あたり平均60個程度のパッシブデバイスが搭載され、24年度売上高は20年度比115%成長を遂げ、世界シェアは約50%と推定。パッシブデバイスで27年度に売上高が24年度比25%成長、世界シェア70%獲得を目指す。

25年10月末に、コンポーネント事業に関して最新情報をアップデートした。具体的には欧米向けでは故障検出安全機能追加スイッチ、中国ではEV用48V対応スイッチの需要が増加傾向にあるとした。また、抵抗体ポジションセンサーは車載に加え、ロボット、スマート家電などでの拡充も進んでいると説いた。26年に新機能のパッシブデバイスを発売し、27年度までに売上高100億円を目指すことも明かした。

②では27年度の売上高1050億円（同34%増）、営業利益50億円（25年度50億円の損失予想）を見込む。売上高の主体が既存製品から新製品に置き換わる見通しで、新製品の売上高は27年度に25年度予想比6倍を予想。26年度以降に立ち上がる新製品の90%が受注確定済みだ。また、成長投資中のミリ波センサー、高分解能磁気センサー、静電センサーによる感圧や物体検知を産機・民生市場に、磁歪式トルクセンサーを車載パイワイヤーアプリケーション向けに立ち上げる。

25年10月末にアップデートされた情報によれば、ミリ波新製品が車載市場で6プロジェクト（5メーカー）、産機・農機でも3プロジェクトが立ち上がり、デジタルキーは企画原価を達成できる見通し。27年度以降、横展開により拡大が進み、収益上積みも期待できる。ミリ波センサーは27年度までに売上高100億円、デジタルキーは26年4月から販売を開始し、売上高150億円を目標とする。

③では、27年度売上高6000億円（同20%増）、営業利益300億円（同30倍）を目指す。ただし、昨今の新車販売動向の不確実性や主要顧客の事業環境を考慮し、実際の受注値より10%バッファをとった計画値とする。キャビン関連の新製品が25年度下期に一斉に立ち上がる計画だ。キャビンモニタリングシステムで一部開発遅延はあるものの、企画原価達成は可能としており27年度に本格展開を見据える。キャビンメインコントローラーは、最終工程認定に向けた準備が進行中、キャビンコントローラー周辺関連新製品は量産準備中で、ともに26年4月から販売を開始し、27年度までの売上高目標は前者が600億円、後者が450億円。キャビンモニタリングシステムも26年2月から販売開始を計画しており、27年度までに130億円を売上目標としている。

## 25～27年度通常投資約1450億円、戦略投資約400億円計画

25～27年度の通常投資額として約1450億円を計画しており、このうち25年度は当初計画の651億円を上回る見

## 中部・北陸 ①

新潟県・山梨県・長野県

- ◆:コンデンサー
- ◇:抵抗器
- ☆:水晶製品
- :コネクタ
- ◎:サーミスター
- :センサー関連
- :モーター
- ▲:研究開発
- △:その他



### ■ 新潟県 ■

- 【長岡市】
  - アルプスアルパイン(株) 長岡開発センター ▲
  - TDKラムダ(株) 長岡テクニカルセンター △
  - ケミコンデバイス(株) 長岡工場 □△
- 【燕市】
  - ダイヤモンド電子(株) △
- 【糸魚川市】
  - 進工業(株) 糸魚川工場(須沢) ◇
  - 進工業(株) 糸魚川工場(南寺島) ◇
- 【妙高市】
  - ルビコン(株) 新潟事業所 ◆
- 【上越市】
  - 新潟太陽誘電(株) ◆
  - (株)MARUWA 春日山工場 △
  - (株)MARUWA 直江津工場 △
- 【北蒲原郡聖籠町】
  - 日本ケミコン(株) 新潟工場 ◆

### ■ 長野県 ■

- 【上田市】
  - ASPINA(シナノケンシ(株)) 東内事業所 ●
  - ASPINA(シナノケンシ(株)) 本社/丸子事業所 ●
  - 真田KOA(株) ◇
  - 長野計器(株) 上田計測機器工場 △
  - 長野計器(株) 丸子電子機器工場 □
  - 長野計器(株) 長野計器テクニカル・ソリューションズ・センター ▲
- 【岡谷市】
  - 岡谷電機産業(株) 長野事業所 ▲
  - 沖電線(株) 岡谷工場 △
- 【飯田市】
  - KOA(株) 匠の里 ◇△
  - TDKエレクトロニクスファクトリーズ(株) 飯田工場 △
  - 飯田帝通(株) ◇
- 【須坂市】
  - (株)鈴木 日滝原工場 △
  - 須坂帝通(株) ◇
- 【小諸市】
  - スミタ電機(株) 長野技術センター/長野工場 △
  - (株)小諸村田製作所 △
- 【伊那市】
  - KOA(株) 西山工場 ◇△
  - ルビコン(株) 本社・本社工場 ◆
  - ルビコン(株) ますみヶ丘事業所 ◆
  - ルビコンエンジニアリング(株) ◆
- 【駒ヶ根市】
  - 帝国通信工業(株) 赤穂工場 ◇
- 【大町市】
  - ニチコン製箔(株) 大町工場 ◆
- 【佐久市】
  - 双信電機(株) 浅間工場 ◆△
  - 双信電機(株) 千曲工場 △
  - TDK(株) 浅間テクノ工場 □
  - TDK(株) 千曲川テクノ工場 ▲
  - マブチモーターオーケ(株) 長野工場 ●△
- 【安曇野市】
  - ニチコン大野(株) 長野工場 ◆
  - 本多通信工業(株) 安曇野工場 ■
  - 安曇野本多通信工業(株) 穂高工場 ■△
  - (株)アズミ村田製作所 △
- 【北佐久郡御代田町】
  - ミネベアミツミ(株) 軽井沢工場 ●
- 【上伊那郡箕輪町】
  - KOA(株) イーストウイング ◇△
  - KOA(株) MINOWAウイング ◇△
  - KOA(株) 箕輪工場 ◇△
- 【上伊那郡南箕輪村】
  - KOA(株) さくらウイング ▲
  - KOA(株) 中央工場 ◇△
- 【下伊那郡松川町】
  - 信州航空電子(株) □△
  - ルビコン(株) 松川事業所 ◆
- 【下伊那郡阿智村】
  - KOA(株) 七久里の杜 ◇△
- 【木曾郡木曾町】
  - 木曾精機(株) ◇
- 【北安曇郡池田町】
  - ケル(株) 長野事業所 ■

### ■ 山梨県 ■

- 【富士吉田市】
  - シチズン電子タイムル(株) △
  - シチズン電子(株) 本社・工場 △
- 【山梨市】
  - I-PEX(株) 山梨工場 ■□
- 【韮崎市】
  - リバーエレテック(株) 本社 ☆
- 【南アルプス市】
  - ケル(株) 南アルプス事業所 ■
  - TDK(株) 甲府工場 △
  - TDKエレクトロニクスファクトリーズ(株) 甲府工場 △
- 【甲斐市】
  - オリエンタルモーター(株) 甲府事業所 ▲△
- 【上野原市】
  - 富士航空電子(株) ■
- 【西八代郡市川三郷町】
  - ケル(株) 山梨事業所 ■



書名 .....電子部品メーカーハンドブック 2026  
体裁・頁数 .....A4 変形判、244 頁  
定価 .....17,600 円 (税込)  
発刊日 .....2026 年 3 月 2 日